

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

## sanbi-i-com (No.147)

### 紙は環境に悪いのか？②

#### — 木を見て森を見ず —

前回の sanbi-i-com では、「紙と印刷は環境に悪い訳ではない。悪名高い一部の製紙会社もあるが、製紙業界全般について言えば、むしろ森林の保護に貢献している」という紙を擁護する見解とともに、Google が米欧の印刷業界団体 (PIA と TwoSides) の抗議を受けて「ペーパーレス化で樹木を救え」という主張を撤回した経緯をご紹介いたしました。

「紙は森林を破壊する。電子化して紙の使用を控えるべき」といった紙悪玉論とでも言うべき考え方は、Google は撤回してくれたとはいえ、既に多くの人々に広く行き渡ってしまっていますので、これを今から覆すのは大変なことです。しかしながら、米欧の業界団体は黙って泣き寝入りしていません。PIA と TwoSides 以外にも積極的に反論を発信している所があります。

#### ■ Print Grows Trees サイトのご紹介

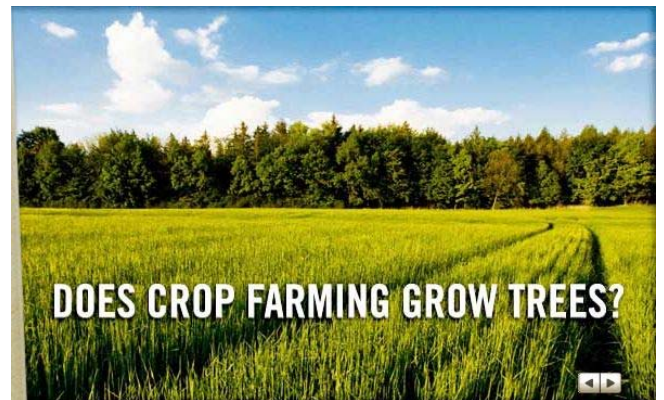
例えば、米国東海岸中部 (北はニューヨーク州から南はバージニア州まで、主要都市はニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントン) の業界団体 PGAMA (Printing & Graphic Association MidAtlantic、350 社が加盟) は、その名もずばり Print Grows Trees (印刷は木を育てる) という啓蒙キャンペーンのサイトを設けています。

<http://www.printgrowstrees.com/index.html>

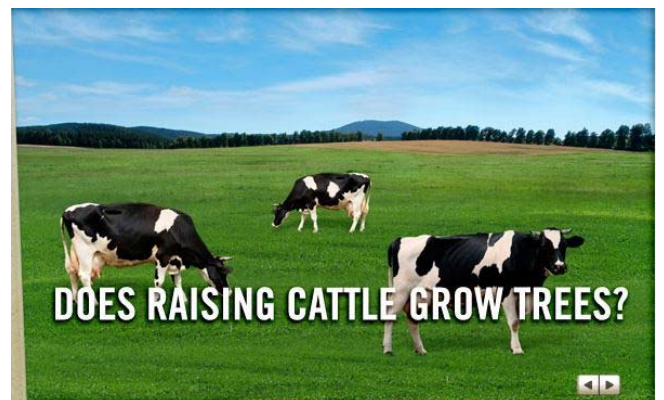
上記サイトは、紙悪玉論の考え方を、これぞまさにぴったりと思える一言で評しています。それは「木を見て森を見ず」です。この英語由来の諺は、ご存知のように「細部に気を取られて全体を見失う」という意味のたとえですが、この場合はたとえではなく全く文字通りの意味で使っており、「木を守るために、木を伐って作るものは使うな」などというのは木しか見ていない短絡的な考えだ。それでは森全体は守れない」と批判している訳です。

対する紙擁護論は、「森を守るには、他の土地用途への転用を防がねばならず、そのためには林業収入を支える木材需要が必要」という考えを基本としています。上記サイトのトップページは、この考え方を視覚的に単純明快に理解してもらうための写真をスライ

ドショーで表示しています。sanbi-i-com の読者の方々にもぜひご覧いただきたく存じますので、以下に転載させていただきます。



1) 農業は木を育てるのか？



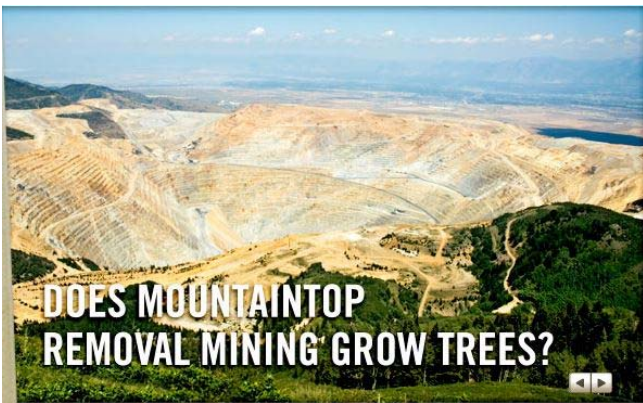
2) 牧畜業は木を育てるのか？



3) 住宅地は木を育てるのか？



5) 木を育てる唯一の商業的土地利用は、紙や木材製品の  
ための林業である



4) 鉱山は木を育てるのか？

注) 各写真の下の和文キャプションは、筆者による意識につき、必ずしも写真の中の原文の一語一語に忠実ではないことをご了承ください。

■ 紙の印刷物の電子(画面で読む)に対する環境面の優位点

前回の「Google への抗議文」の所でも挙げましたが、(1)と(2)の説明をより詳しくしましたので、改めて以下に4つの優位点を列挙いたします。

**(1)紙の主原料の木材は再生可能 (Renewable)**

再生可能とは、自然の力で回復、補充され、継続利用できることです。代表例は、太陽光、風力、そして木材です。電子機器の原料となる金属やプラスチック(石油)はどうでしょうか？ 掘り尽くした鉱山で再び同じ鉱石が育つということはなく、石油も化石燃料説(有機由来説)\*に立つ限りは同様ですので、今の電子機器に再生可能な原料は殆ど無い筈です。

\*石油の無機由来説についてはここでは触れません。

**(2)紙はリサイクル可能 (Recyclable)、しかも容易**

日本の古紙回収率は大変高く 2011 年で 76.2%ですが、米国、欧州も低い訳ではなく、どちらも 60～70%の高い値です(ソースは RISI Annual Review 2011)。古紙を回収して紙の原料にする社会的な仕組みは、先進国では既によく整っていると言えます。

一方、電子機器も貴金属やレアメタルを取り出す等のリサイクルは行われてはいるようですが、紙に比べて、はるかに複雑、高コスト、危険(鉛、カドミウム、水銀等)で困難です。処理に困る電子機器の廃棄物の急増は、世界の至る所で社会問題になっています。

**(3)何回読んでもエネルギー消費なし**

印刷物は一度製造されれば後は何回読んでもエネルギー消費がないメディアです。一方、電子メディアは読む度に必ず電気を使います。

**(4)製紙業は再生可能エネルギー利用率が高い**

米国で65%、欧州で54%、日本でも41%が再生可能エネルギー(主に黒液と呼ばれるパルプ製造工程で出る廃液=バイオマスの一種)で賄われています。電子関連のハードやサービスの会社の再生可能エネルギー利用率は不明ですが、製紙業のような高い値の会社があるとは到底思えません。

(第 147回: 2014 年 4 月 4 日)